



2月21日(金) 塩野町小学校
幻想的な雪像まつり

恒例の雪像まつりが開催され、児童たちはこの日のために、10班(各学年1、2人で構成)に分かれ、約1週間かけて、校庭にゆるキャラなどの雪像をつくりました。夕方には、雪像や雪灯籠に明かりが灯され、集まった約150人が幻想的な雰囲気を楽しみました。



2月28日(金) 村上地域振興局
身近な森林について学んでほしい

村上地域振興局が作製した冊子「森林とわたしたちの暮らし」が村上市および岩船郡内の小学校に贈呈されました。これは「地域の自然や森林について、子どもたちにもっと学んでほしい」と村上管内の森林・林業関係団体や教職員などがまとめたもので、小学校4～6年生の総合学習などで役立てられます。

新たな観光情報の発信基地がオープン

3月1日(土) JR村上駅前



JR村上駅前の旧交番跡地に観光案内所「むらかみ旅なび館」が完成しました。古材や越後杉をふんだんに利用した町屋づくりのこの施設は、新たな観光拠点として、さまざまな情報を発信しながら、村上市をPRしていきます。



このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

「金屋獅子踊り」を永遠に

2月23日(日) 金屋集落開発センター



約300年の伝統を持つ金屋獅子踊りをさらに盛り上げていこうと、保存会の有志約20人が「金屋獅子を語るワークショップ」を開催しました。

参加者からは「獅子踊りに関わるメンバーと観客のどちらもが楽しむことのできる祭りにする事で、未来へ引き継いでいくことができるのでは」などといった将来に向けた意見が活発に交わされました。金屋獅子踊りは、毎年7月14・15日の金屋祭りで見ることができます。



2月26日(水) 荒川地区公民館
健康ナイトスクール「なんじだね」開催

地域住民の健康増進や介護予防を目的に、県立坂町病院の医師による講演会が行われました。在宅診療や外科手術の様子など、坂町病院の今が豊富な写真と共に紹介され、冗談も交えた軽快な話で、参加者は熱心に耳を傾けていました。同病院では、今後このような活動を定期的に行い、地域に密着した病院を目指していきたい」と話していました。

交流がつなぐ笑顔と心

3月8日(土)・9日(日) 大毎地内



さんぼくごっつお物語協議会主催で開催された「雪山メープルシロップ物語」。メインはメープルシロップの作業を体験することですが、笹だんごづくりや餅つきなど地域の人との交流も大切にしています。参加者の一人は「地域のおもてなしの心が伝わり、大毎が好きになりました。」と笑顔で話してくれました。



3月15日(土) まゆクラフトで受賞
平林小学校

平林小学校では、まゆクラフト作品やシルクフラワーの花飾りづくりを取り組んでいきます。この度、5、6年生が作ったかわいらしい動物たちの作品(題「ゆめ公園」)が、日本絹の里(群馬県)の日本絹の賞を受賞しました。6年生の遠山彩花さんは、「先生に教えてもらって、休み時間に作りました。みんな受賞を喜んでいきます。」と話してくれました。

新たなお宝を発見

3月16日(日) さんぼく会館



山北地区まちづくり協議会主催の「地域づくり楽習会」で、学童保育所の子どもたちによる「山北の昔語り紙芝居」が行われました。おじいちゃんやおばあちゃんに習った昔の言葉でゆっくりと感情を込めて語る子どもたちの姿に、来場者の顔には自然と微笑みが。この「昔語り」は、新たな山北の「宝」となるでしょう。

災害から地域を守る

3月2日(日) 平林地域まちづくり協議会



平林地域の自主防災組織の役員を集め、「自主防災組織リーダー研修会」を開催しました。研修会では、先進的な取り組みを行っている地域の事例紹介や集落単位でワークショップを行い、災害時の対応について話し合いました。参加した人は、「これからの自主防災組織の活動に役立たい。」と話していました。

杉浦太陽さんがやってきた

3月15日(土) 総合文化会館



「やっぱり雪国ですね」自身4回目となる村上市に懐かしさ感じさせる表情を浮かべながら、ここにことタクシーを降りてきた杉浦太陽さん。

「村上にはおいしいものがいっぱいある」「子育てはやってあたりまえ」「なぜ『イクメン』と呼ばれるのかわからない」また、家事については「自分ができることを見つけて積極的に動く」「分担して早く終わらせて自分の時間や子どもと過ごす時間にする」など、料理や家庭生活の持論を展開し、会場を沸かせました。